

(別紙) 計画区域



位置と地勢

位置	北緯35度53分51秒 東経140度29分38秒
面積	262.31 Km <sup>2</sup>
人口	82,866人(H22国勢調査)
世帯	27,309世帯(H22国勢調査)

東日本大震災での被害概要(H25.7.31現在)

住家被害	全壊	224世帯
	大規模半壊	1,111世帯
	半壊	1,413世帯
	一部損壊	3,118世帯
液状化面積	約3,500ha	
道路被災	607箇所	
河川被災	21箇所	
農業被害	作付不能面積	約2,500ha
	上水道	災害復旧管路延長 19.1km
公共下水道	災害復旧管路延長 13.56km	
農業集落排水	災害復旧管路延長 2.51km	
住宅対策	応急仮設住宅	23世帯
	公営住宅等入居斡旋	21世帯

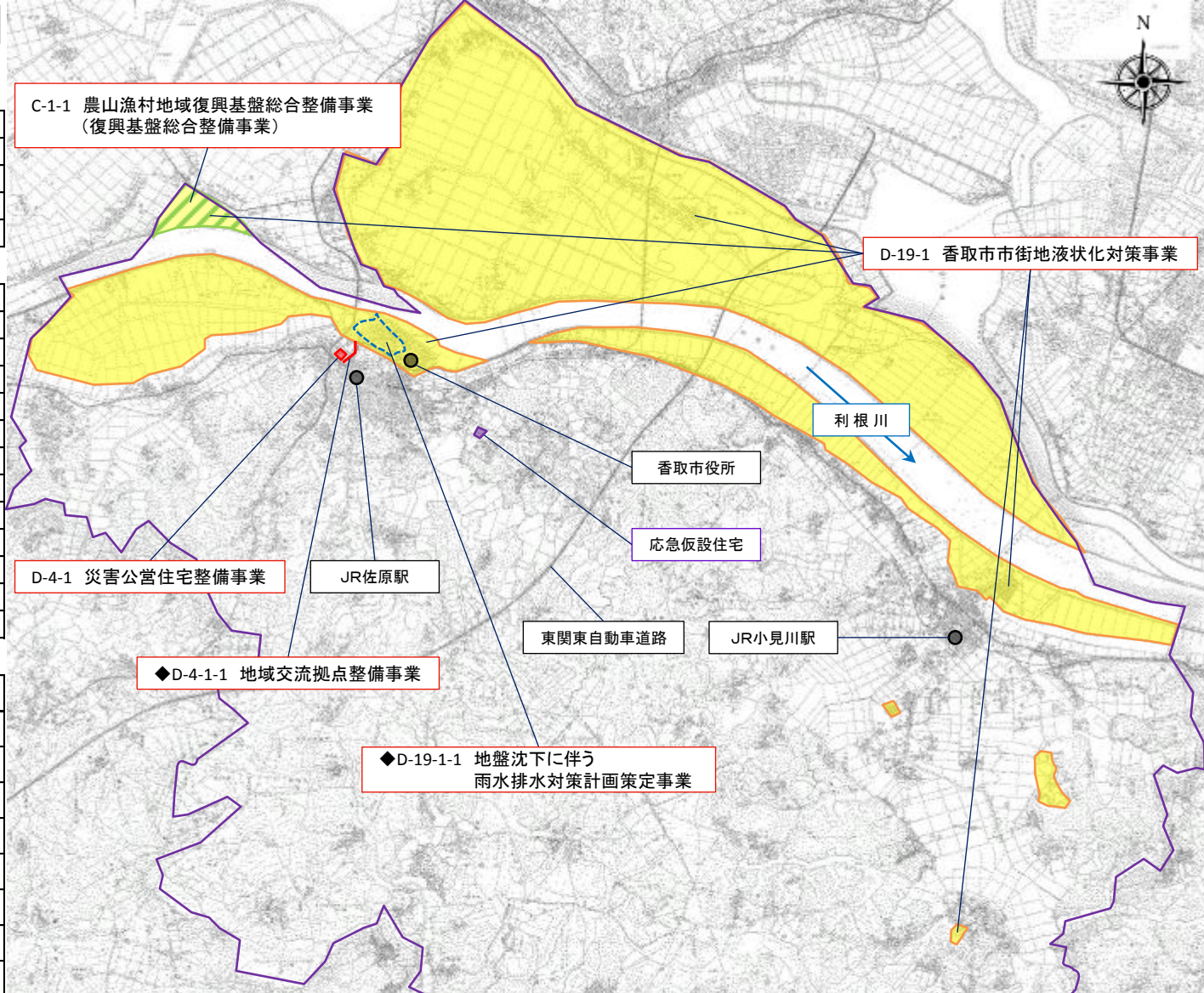
凡例

	液状化区域
	復興基盤総合整備事業区域
	災害公営住宅整備区域
	応急仮設住宅
	雨水排水対策計画区域
	地域交流拠点整備区域
	利根川の流れの方向
	市境界
	ランドマーク

復興交付金事業

単位:千円

No	種別	事業番号	主体	事業内容	期間	配分額	総事業費	採択
1	基幹	C-1-1	千葉県	被災した農業用排水施設の整備	24~26年度	228,187	304,250	第2回、第4回
2	基幹	D-4-1	香取市	災害公営住宅の整備	24~25年度	338,430	386,778	第2回
3	効果	◆D-4-1-1	香取市	災害公営住宅整備地近隣に緑地・緑道を整備	24~25年度	40,000	50,000	第2回
4	基幹	D-19-1	香取市	市街地液状化区域の液状化解析と対策計画の策定	24~25年度	157,500	210,000	第1回、第2回、第5回
5	効果	◆D-19-1-1	香取市	液状化により地盤沈下した区域の雨水排水対策計画策定	25~26年度	17,120	21,400	第7回
					合計	781,237	972,428	



(様式1-2)

香取市 復興交付金事業計画 復興交付金事業等

基金設置の時期: 平成24年3月1日 設置の有無: 有

平成25年11月時点 (単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	総交付対象 事業費 (注3)	うち、特定市町 村又は特定都 道県以外の者 が負担する額を 減じた額	各年度の交付対象事業費 (注4)					全体事業費 (注5)	全体事業 期間 (注6)	備 考(注7)
									平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度			
1	C - 1 - 1	農山漁村地域復興基金総合整備事業 (復興基金総合整備事業)	香取市 石納・野間谷原	県	千葉県	直接	(304,250) 0	(304,250) 0	(0) 0	(225,000) 0	(70,000) 0	(9,250) 0	(0) 0	313,500	24 ~ 26	千葉県 313,500千円 茨城県 83,300千円
2	D - 4 - 1	災害公営住宅整備事業	香取市 佐原地区	市	香取市	直接	(386,778) 0	(386,778) 0	(0) 0	(386,778) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	386,778	24 ~ 25	
3	◆ D - 4 - 1 - 1	地域交流拠点整備事業	香取市 佐原地区	市	香取市	直接	(50,000) 0	(50,000) 0	(0) 0	(50,000) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	50,000	24 ~ 25	
4	D - 19 - 1	香取市市街地液状化対策事業	香取市 佐原、新島・北佐 原、小見川、山田 地区	市	香取市	直接	(210,000) 0	(210,000) 0	(0) 0	(110,000) 0	(100,000) 0	(0) 0	(0) 0	210,000	24 ~ 25	
5	◆ D - 19 - 1 - 1	地盤沈下に伴う雨水排水対策計画策定事業	香取市 佐原地区 北部第6排水区	市	香取市	直接	(0) 21,400	(0) 21,400	(0) 0	(0) 0	(0) 21,400	(0) 0	(0) 0	21,400	25 ~ 26	
6	- -						(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0		~	
7	- -						(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0		~	
合 計						(951,028) 21,400	(951,028) 21,400	(0) 0	(771,778) 0	(170,000) 21,400	(9,250) 0	(0) 0				
(うち市町村交付分)						(646,778) 21,400	(646,778) 21,400	(0) 0	(546,778) 0	(100,000) 21,400	(0) 0	(0) 0				
(うち県交付分)						(304,250) 0	(304,250) 0	(0) 0	(225,000) 0	(70,000) 0	(9,250) 0	(0) 0				
(うち基幹事業)						(901,028) 0	(901,028) 0	(0) 0	(721,778) 0	(170,000) 0	(9,250) 0	(0) 0				
(うち効果促進事業等)						(50,000) 21,400	(50,000) 21,400	(0) 0	(50,000) 0	(0) 21,400	(0) 0	(0) 0				

都道府県名	千葉県	担当部局名	企画政策課	担当者氏名	平山 清直
市町村名	香取市	電話番号	0478-50-1206	メールアドレス	seisaku@city.katori.lg.jp

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画内の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「総交付対象事業費」は、「交付期間」を通じての全ての事業費を記載する。

(注4)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。

(注5)「全体事業期間」は、平成28年度以降に実施することが見込まれる事業については、平成28年度以降も含めて記載をする。

(注6)年度間調整又は事業間流用を行った場合には、「備考」に年度間調整又は事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

(注7)担当者氏名等は県及び市町村の担当者を並べて記載する。

(注8)上段( )書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(様式 1-3)

## 香取市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 25 年 11 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	5	事業名	地盤沈下に伴う雨水排水対策計画策定事業	事業番号	◆D-19-1-1
交付団体	香取市	事業実施主体 (直接/間接)	香取市 (直接)		
総交付対象事業費	21,400 (千円)	全体事業費	21,400 (千円)		
事業概要					
<b>1 事業の端緒と目的</b> 千葉県香取市は、東日本大震災で地盤の液状化と沈下による著しい被害を受けた。とくに佐原処理区内の北部第 6 排水区では、地域全体に液状化と著しい地盤沈下が発生し、元の地盤高から 20cm 以上、最大で 40 cm 程度まで沈下している。その結果、北部第 6 排水区内の雨水排水が困難となり、 <u>30mm/h を超える降雨で浸水被害が発生するようになった。</u>  ※ 北部第 6 排水区概要 北部第 6 排水区 (25ha、人口約 3,100 人、約 1,300 世帯・H25.4/1 現在) は、JR 佐原駅北側 (国道 356 号) から利根川までの間に位置する著しい液状化の区域内である。 区域内の雨水は雨水幹線管渠 (BOX 加圧) を通じ、十間川へ排水、小野川へと流下し、利根川へ排水する仕組みである。 また、震災前の雨水排水対応能力は、5 年確率降雨強度 <u>53.1mm/h であった。</u>  この対策として、5 年確率降雨強度の全国的な一般値である <u>50.0mm/h の回復をめざす事業を検討する</u> ため本地域の詳細な調査と各種対策案の比較検討を行う「 <u>地盤沈下に伴う雨水排水対策計画策定事業</u> 」を行うものである。					
<b>2 事業計画策定のための調査内容</b> (1) 北部第 6 排水区の地盤高調査 (2) 降雨時の雨水排水能力調査 (3) 浸水シミュレーション (4) 雨水排水方法の検討					
<b>3 調査内容の結果をふまえ比較検討を行う事業計画案</b> (1) 幹線管渠の上流域から十間川に注ぐ雨水バイパス管を新設 (2) 幹線管渠末端のゲート付ポンプ近隣に、排水機場を整備 (3) 幹線管渠末端のゲート付ポンプ近隣に、調整池を整備かつ排水ポンプを増設					
当面の事業概要					
<初年度> 地盤沈下に伴う雨水排水対策計画策定 (事業費 21,400 千円) <二年度目> 計画に基づく実施設計 <三年度目> 実施設計に基づく建設工事					

## 東日本大震災の被害との関係

### 1 東日本大震災により発生した液状化による不同沈下

北部第6排水区では、東日本大震災で地域全体に液状化と著しい地盤沈下が発生し、元の地盤高から20cm以上、最大で40cm程度まで沈下した結果、震災前後で次のような状況となった。

#### (震災前後の比較1)

- ①震災前：北部第6排水区は、平水位時における地盤高と水位の差は1m程度であった
- ②震災後：平水位時における地盤高と水位の差は60cm程度に減少した。

### 2 地盤沈下の結果として発生するようになった浸水被害

前述の地盤沈下のため、北部第6排水区の雨水幹線管渠は、排水勾配が減少し、晴天時においても管渠内に排水が恒常的に滞留し水没している状況となり、排水能力は著しく低下している。

また、強雨時には河川水位も高くなるが、前述の通り雨水幹線管渠は排水勾配がとれないため、北部第6排水区の雨水排水は、ゲート付ポンプによる強制排水のみに頼らざるを得ない。

しかし、本ポンプ(0.3m<sup>3</sup>/s×2基)では排水能力が不足していることから、北部第6排水区では、震災前後で次のような状況となった。

#### (震災前後の比較2)

- ①震災前：降雨量60mm/hであっても浸水被害が発生していない
- ②震災後：降雨量30mm/h程度で浸水被害が発生(5年確率計画降雨強度の全国的一般値：50.0mm/h)

## 関連する災害復旧事業の概要

「北部第6排水区」に係る災害復旧事業の概要

### ▼下水道災害復旧工事(23災第66号3工区)(23災第67号4工区)

工事場所 北部第6排水区 香取市佐原口水郷町地内外  
工 期 自 平成24年3月13日 至 平成25年3月21日  
契約額 235,605,300円  
工事概要 復旧延長：L=2537.6m  
管 渠 工：L=2537.6m  
部分管更生：N=3箇所  
マンホール復旧工：N=36箇所

### ▼河川災害復旧工事(23災河第89号その2)及び護岸補修工事

工事場所 準用河川利根川水系十間川 香取市佐原口地先 外  
工 期 自 平成25年5月1日 至 平成25年12月25日  
契約日 平成25年4月30日  
契約額 238,350,000円  
工事概要 工事延長：L=1,068m、  
かごマット護岸工：A=2,174m<sup>2</sup>、  
鋼矢板護岸工：N=207枚

※上記事業の他、道路災害復旧工事及び水道事業災害復旧工事を実施中である。

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-19-1
事業名	香取市市街地液状化対策事業
交付団体	市
基幹事業との関連性	
<p><b>1 香取市市街地液状化対策事業（基幹事業）について</b></p> <p>基幹事業では、最終目標として「安全で安心して暮らせるまちづくり」を掲げ、北部第6排水区を含む液状化被害地域において再液状化を抑制するための事業計画を策定するため、被害状況の把握、ポーリング調査、モデル街区の選定、公共施設と宅地の一体的対策の策定を実施しているところである。</p> <p><b>2 基幹事業の効果を増大させる内容</b></p> <p>本申請内容に係る北部第6排水区は、香取市の中心市街地の一部であり、基幹事業の重要な位置を占める。基幹事業の実施により再液状化防止対策が確定し当該事業を実施したとしても、震災後に発生するようになった地盤沈下による浸水被害を解消しないことには、基幹事業で掲げる最終目標「安心して暮らせるまち」として復興したといえない。</p> <p>また、基幹事業で実施する調査内容には、地域全体における地盤高の調査や、地域の排水能力の調査は含んでいないため、「地盤沈下に伴う雨水排水対策計画策定事業」が必要である。</p>	

(様式1-4)

香取市 復興交付金事業計画 平成24年度 復興交付金事業等

省庁名: 国土交通省

平成25年11月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

Main table with columns: No., 事業番号 (注1), 事業名 (注2), 地区名施設名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 基本国費率 (注3), 当該年度 (注4) [交付対象事業費 (b), 交付対象事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額 (c), うち交付金交付額基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2, 効果促進事業等の場合 (d)=0.8c], 年度間調整額 (注5) (該当する場合のみ記載) [年度間調整額 (国費) (e), 調整後の交付金交付額 (f)=d-e], 備考

Summary table with columns: 都道府県名 (千葉県), 市町村名 (香取市), 担当部局名 (企画政策課), 電話番号 (0478-50-1206), 担当者氏名 (平山 清直), メールアドレス (seisaku@city.katori.lg.jp)

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)

(注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。

(注6)上段( )書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(様式1-4)

香取市 復興交付金事業計画 平成25年度 復興交付金事業等

省庁名: 国土交通省

平成25年11月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	基本 国費率 (a) (注3)	当該年度(注4)			年度間調整額(注5) (該当する場合のみ記載)		備 考
								交付対象事業費 (b)	交付対象事業費のうち、特 定市町村又は特定都道府 県以外の者が負担する額を 減じた額 (c)	うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 効果促進事業等の場合 (d)=0.8c	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 (f)=d-e	
4	D - 19 - 1	香取市市街地液状化対策事業	香取市 佐原、新島・北 佐原、小見川、 山田地区	市	香取市	直接	1/2	(100,000) 0 <100,000>	(100,000) 0 <100,000>	(75,000) 0 <75,000>			
5	◆ D - 19 - 1 - 1	地盤沈下に伴う雨水排水対策計画策定事業	香取市 佐原地区 北部第6排水 区	市	香取市	直接	4/5	(0) 21,400 <21,400>	(0) 21,400 <21,400>	(0) 17,120 <17,120>			
合計額								(100,000) 21,400 <121,400>	(100,000) 21,400 <121,400>	(75,000) 17,120 <92,120>	(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	

都道府県名	千葉県	担当部局名	企画政策課	担当者氏名	平山 清直
市町村名	香取市	電話番号	0478-50-1206	メールアドレス	seisaku@city.katori.lg.jp

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

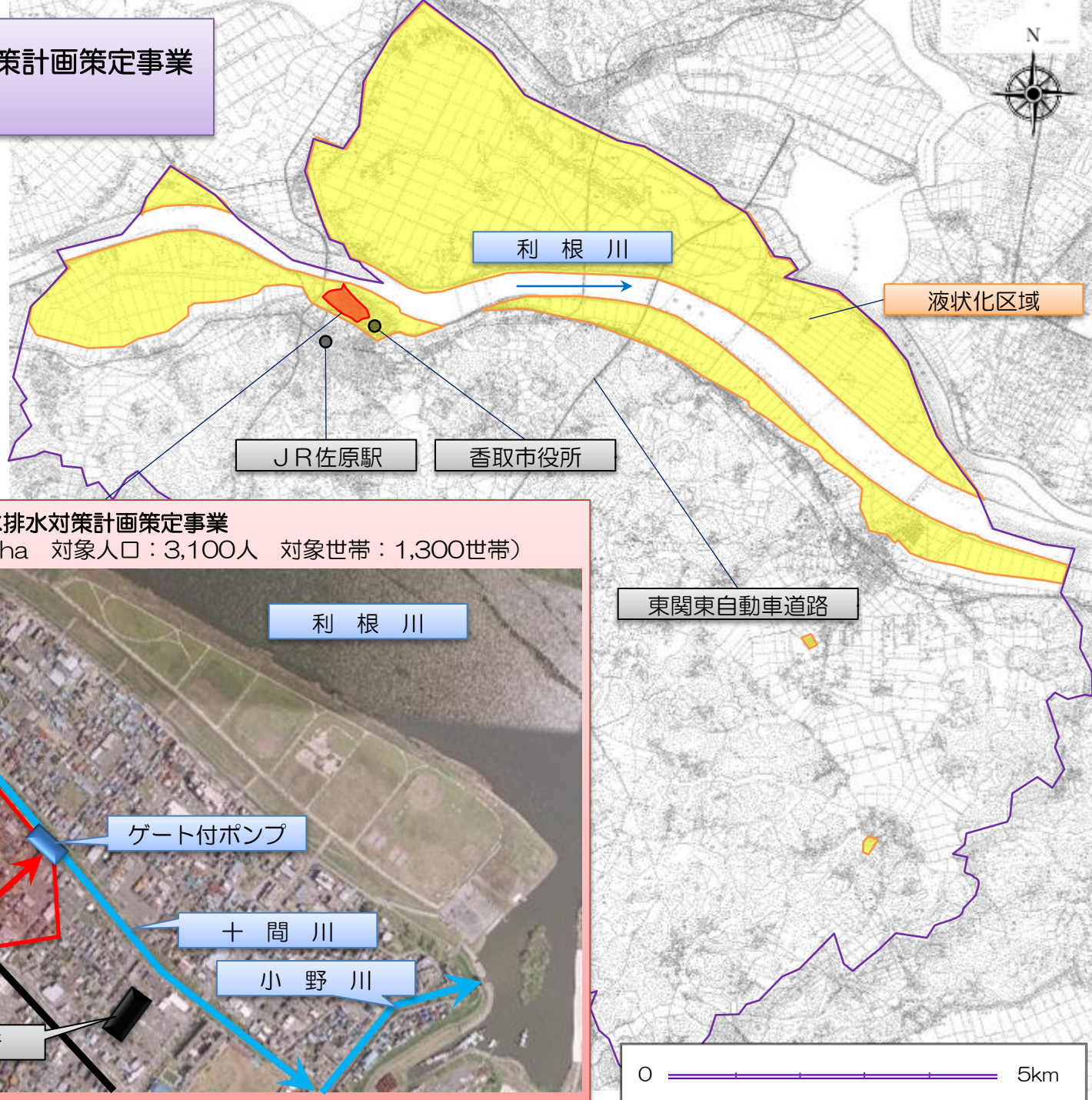
(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)

(注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

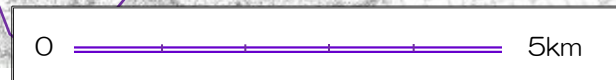
(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。

(注6)上段( )書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

# 地盤沈下に伴う雨水排水対策計画策定事業 位置図



◆D-19-1-1 地盤沈下に伴う雨水排水対策計画策定事業  
北部第6排水区 (処理面積：24.94ha 対象人口：3,100人 対象世帯：1,300世帯)





復興交付金事業等に要する費用の算出に係る基礎資料

(単位:千円)

復興交付金事業等の名称／目的及び内容		交付金の算出方法	
事業名	地盤沈下に伴う雨水排水対策計画策定事業	工事費 (A)	21,400
箇所名	佐原地区 北部第6排水区(25ha)	控除額 (B)	
事業認可 告示年月日	平成年月日 平成年月日	交付対象事業費 (C)=(A)-(B)	21,400
事業施行期間	平成26年1月 ～平成26年12月	基本国費率	4/5
工事施行延長又は 面積		交付額 (D)	17,120
用地面積及び 物件戸数等	面積 m <sup>2</sup> 件数 件	摘 要	
事業完了予定期日	平成年月日	現況調査及び 雨水排水対策計画 策定業務委託  21,400	
経費の配分			
本工事費			
測量設計費	21,400		
用地費及補償費			
船舶及機械器具費			
工事費計 (A)	21,400	本工事費・計	21,400

(参考様式)

### 香取市復興交付金事業計画 復興交付金事業等工程表(平成25年度)

平成25年11月現在

※本様式は1-2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

直接交付先	No.	5	事業番号	◆D-19-1-1	事業名	地盤沈下に伴う雨水排水対策事業	事業実施主体	香取市
項 目	平成25年度							備 考
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
(北部第6排水区) ・現況調査 ・浸水シミュレーション ・雨水排水対策計画策定								下水道事業団委託 21,400千円

(注)上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。(なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。)

(注)同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

(注)平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。